

2012年度低温工学 九州・西日本支部研究会／第4回材料研究会のご案内

超電導発見から一世紀が経過し、今後の展開を考えるためには、まずは現状把握が必要と思われます。九州・西日本支部と材料研究会では、日本のみならず、米韓からも第一線で活躍されている研究者をお招きし、世界の最新動向を聞くことができる研究会を下記の要領で開催致します。早春の福岡は、風はまだ冷たいながらも麗らかな陽気の中で芽吹く山海の旬を味わえる時節となります。奮ってご参加下さい。

テーマ：超電導開発の現状と展望

日 時：2013年3月15日(金) 10:00～16:25

場 所：〒819-0395 福岡市西区元岡 744 九州大学伊都キャンパス内 稲盛ホール

<http://www.inamori-center.kyushu-u.ac.jp/information/index.html>

交通案内：下記の九州大学キャンパス・交通案内をご覧ください。

<http://suisin.jimu.kyushu-u.ac.jp/info/index.html>

参加費（資料代）：2,000円（どなたでも自由に参加できます）

主 催：（公財）低温工学・超電導学会 九州・西日本支部／材料研究会

共 催：九州大学 超伝導システム科学研究センター

プログラム

開会の挨拶	前田 敏彦 氏 (材料研究会委員長)	10:00～10:05
1. 日本における超電導技術開発の現状と展望	塩原 融 氏 (ISTEC)	10:05～10:35
2. Recent development and future prospects of coated conductors in the US	Prof. Venkat Selvamanickam (Univ. of Houston)	10:35～11:05
3. 韓国における超電導技術開発の現状と展望	Prof. Minwon Park (韓国・チャンウオン大学)	11:05～11:35
4. 核融合炉超電導システムの現状と展望	三戸 利行 氏 (核融合科学研究機構)	11:35～12:05
昼 休 み 75分		
5. Y系超電導線材開発の現状と展望	和泉 輝郎 氏 (ISTEC)	13:20～13:40
6. 超電導ケーブル開発の現状と展望	大松 一也 氏 (住友電工)	13:40～14:00
7. 超電導変圧器開発の現状と展望	富岡 章 氏 (富士電機)	14:00～14:20
8. Y系伝導冷却超電導マグネットの現状と展望	宮崎 寛史 氏 (東芝)	14:20～14:40
9. MgB ₂ 超電導マグネットの現状と展望	田中 秀樹 氏 (日立)	14:40～15:00
休 憩 10分		
10. Bi系超電導マグネットの現状と展望	林 敏広 氏 (住友電工)	15:10～15:30
11. ナノ組織技術を用いた REBa ₂ Cu ₃ O _y 超伝導薄膜の高性能化	吉田 隆 氏 (名古屋大学)	15:30～15:50
12. 日本における強磁場コラボラトリ計画	淡路 智 氏 (東北大学)	15:50～16:20
閉会の挨拶	円福 敬二 氏 (九州西日本支部長)	16:20～16:25

オーガナイザー：岩熊 成卓、木須隆暢（九州大学）

主 催：低温工学・超電導学会 材料研究会、九州・西日本支部

問い合わせ先：九州大学システム情報科学研究院 岩熊 成卓 TEL:092-802-3831 iwakuma@sc.kyushu-u.ac.jp